

八潮市議会議員 あさだ和宏(39歳)無所属(市民と市政をつなぐ会)



継続こそ・力なり!!  
子育て世代の声を市政へ!!

みらいの八潮(子供達)のために...  
**和宏のほっとかない!!**  
**NEWS**  
vol.28<9月議会報告>

編集・発行

あさだ和宏を育てる会  
会長 落合 利治  
編集長 中井 欣也

〒340-0821 八潮市伊勢野306  
TEL 048(995)0135  
FAX 048(996)4361

●発行日 平成19年10月●

討議資料



プロフィール

1968年 3月28日  
八潮市に生まれる(現在39歳)  
市立大瀬小(八小)大原中(二中)を卒業  
私立成立学園(商業科)を  
それなりの成績で卒業  
01年 (社)八潮青年会議所理事長  
(青年会議所の事業を通して、  
政治のあり方・教育問題に関心を持つ)  
01年 9月市議選に挑戦  
(最年少候補(当時)33歳)  
1229票をいただいて12位当選  
05年 9月  
2度目の市議選に挑戦(37歳)  
1415票をいただいて 9位当選  
現在、2期目(市民と市政をつなぐ会所属)

所属団体

地方政治改革ネット 会員  
青年地方議員の会 会員  
ローカルマニフェスト  
推進地方議員連盟会員  
地方自立政策研究所 会員

これは「問題だ!!」

八潮市「子育て支援」県内40市で、なんと最下位!

皆さん、こんにちは!

日、一日と秋も深まり、街の木々も鮮やかに「紅葉」しています。

さて、9月議会が開会され、提出された議案はすべて可決し、終了しました。

9月議会では、平成18年度の決算があり、予算が効率的、効果的に執行されたか、各常任委員会で議論されました。市の予算の大半は市民の皆さんが納付していただいた「税金」であり、それを市民サービス(福祉や教育、都市基盤整備等)向上するために効率よく、「最小の経費、最大の効果」を基本として執行しなければならないと考えます。

本市もTXが開業し、早2年が経過し、大きく変貌し今後も発展が予想される一方で、これから激化する「都市間競争」や「沿線間競争」に勝ち残っていくためには、さらなる効率的な行政経営を進める必要があると考えます。

では、これからの「課題」は何でしょうか?

私は都市間競争を勝ち残るキーワードの一つが「子育て支援」の充実と考えます。(もちろん高齢者の福祉等の充実も重要と考えます。)日本の人口が自然減少する時代、そして急速なスピードで進む高齢化等を考慮すれば、若い世代(活力のある世代)が感心の高い子育て支援、教育など魅力ある政策(市民サービス)の充実が必要と思います。

しかし、見出しのタイトルにも書きましたが、本市の子育て支援策は県内40市で最下位と「評価」されています。これは埼玉県が、県内の市町村の子育て支援サービスの提供状況を点数化したものです。

ランキングは、児童館・児童センターの設置率など「地域の子育て力」の指標7項目、待機児童数や延長保育実施施設割合など「保育サービス」の7項目、計14項目を選定し、偏差値換算し、順位を決定しました。

順位について「異論」もありますが、一つの指標として考えて、どの分野に先行投資するのか?考えなければなりません。「限られた財源を何に利用するか?」いままでと一緒ではなく、時代に合った、先の時代を予測し、今の八潮市には発想の転換(パラダイム・シフト)が必要だと私は考えます。

八潮市議会議員 朝田 和宏

順位	市町村名	得点	5	所沢市	81	33	三郷市	59
1	さいたま市	81		:		33	幸手市	59
2	川口市	80	33	川越市	59	38	日高市	58
3	新座市	80	33	鳩ヶ谷市	59	39	蓮田市	56
4	本庄市	77	33	志木市	59	40	八潮市	52

ホームページ開設しました

Yahoo!等で検索

あさだ和宏

検索

ご意見・ご要望をお聞かせ下さい

E-mail shigisen-asada@docomo.ne.jp  
asayan@biscuit.ocn.ne.jp

★5年間愛着のあった(笑)議席、会派の変更(他の議員)があり5番議席から1番議席へ変更となりました。